

令和 3 年度

横浜市立高等学校
及び
併設型中学校

学校関係者評価書

対象校：横浜市立横浜商業高等学校別科

調査全体の日程

調査日： 令和 3年 11月 29日 ～ 令和 4年 3月 31日

調査対象校：横浜市立横浜商業高等学校別科

調査チーム：横浜市立横浜商業高等学校別科学校評価委員会

リーダー 吉田 大輔

記録等担当者 天野 靖子

1 第3期横浜市教育振興基本計画の推進状況

□魅力ある高校教育の推進状況について

- ・理容修得者課程(ダブルライセンスクラス)の認知度も高まりつつあり、志願者数の増加にも繋がっているように思う。横浜商業高校別科の新たな特色のひとつと捉え、適切に運営していただきたい。
- ・理容修得者課程への進級希望者の増加に満足することなく、資格の取得はもちろんのこと、一層の教育内容の充実と、希望進路の充実を図っていただきたい。
- ・理・美容師の国家試験の合格率も高止まりであることは歓迎するが、これからもこの水準が維持できるように指導に取り組んでもらいたい。
- ・理容業界も美容業界も別科の教育力に期待しているところが大きいのも事実である。こうした事についても、より一層自覚と誇りを持った指導が求められると思う。
- ・さまざまな職種において若年者の離職率が高いことが問題となっているようであるが、理・美容業界を担う職業人として、職業に対する自覚をさせることも必要だと考える。

2 教育活動の状況

□教科指導の状況について

- ・今年度の「実務実習」では、ダブルライセンスクラスについても行うことができ、より実際の現場に近い職業感に触れることができたことと思う。この課目は社会に出る生徒にとって欠かすことのできないものと考えているので、外部の理・美容のサロンの協力を得るのも大変かとは思いますが、今後も是非継続して行っていただきたい。
- ・「スクールカウンセラー」の配置により、学習の面だけでなく、生徒が抱える悩み等のケアを行うことにより学業に励むことができるので、今後も活用していただきたい。また、学習意欲が高くない生徒への指導はとても大変なことであると思うが、先生方には継続的な指導を行っていただきたい。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴い理・美容の関東大会等が縮小となり、生徒にとっては大変残念なことではあるが、校内での実技競技会を開催するなど先生方の創意工夫により、生徒の学習意欲を喚起しつつ指導している点に感心した。今後も継続した指導をお願いしたい。

□生徒指導の状況について

- ・携帯電話の預かり指導を行うことにより、学業に集中することができ、携帯電話に依存しないコミュニケーションや学校生活が行えていることが分かる。継続して行っていただきたい。
- ・学校生活や学業に支障を生じさせることがないように、生徒のアルバイトの実施に関しては「アルバイト届」を提出させることにより、一人ひとりの生徒に対して適切な事前指導を実施していることは非常に望ましいことと考える。今後もさまざまな経済環境におかれている生徒もいると思うが、指導方法を変更することなく継続した指導をお願いしたい。
- ・「いじめ防止対策委員会」の役割を一層明確化し、「いじめ」のみならず生徒指導上必要な情報の迅速な共有や、迅速で適切な対処が成されていることは大変望ましい。

3 学校経営の状況

□組織運営の状況について

- ・新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴う対策の徹底、休業期間中での連絡、学習支援の活用といった学校の対応、先生方の努力がうかがえる。理美容業は衛生業なので、引き続き感染対策を徹底し、生徒・保護者が安心して学校生活を過ごすことができ、魅力のある学校づくりに取り組んでいただきたい。

□学校経理の状況について

- ・生徒の学習活動はもちろんのこと、健康や、安全を守るための設備を設置・改修できている。今後も理容修得者課程をはじめとする施設・設備の整備を進めていき、生徒への実習指導の向上に努めてもらいたい。

4 いじめへの対応に関する項目

□いじめへの対応について

- ・スクールカウンセラーが配置されたことにより課題や問題を抱えている生徒、保護者へのサポートが行われていることがうかがえた。
- ・全職員の「いじめ」に関する報告や、月例で実施している「いじめ防止対策委員会」においても、「いじめ」と認定するレベルの報告はなされておらず、「いじめ」に対する未然防止と早期発見に力点を置いた日々の指導が功を奏している点も評価できるものとする。しかし、生徒アンケートの結果から表面化していないが、生徒が抱えている問題にも注意を払い、常に「いじめ」はいつでも・どこでも起こり得るとの意識を持ち、指導に当たっていただきたい。